

神南備園の現状と今後の課題は

日本共産党津山市議員 美見みち子



質問 ↓ 障害者福祉センター神南備園が出来て十年経つが、現状と主な活動、今後の課題は。

への適応や生きがいを高め自立と社会参加を図るため、入浴サービス、社会適応訓練等、身体障害者や心身障害児の各種相談や支援活動を行っている。また、自閉症等の発達障害を持つ子ども達に対して、早期発見早期訓練、治療のため、平成十年度より療育事業を実施している。課題は、療育専門スタッフ体制の充実と施設の老朽化に伴う施設整備だ。

質問 ↓ 「地域療育センター」の建設はどうなっているか。

答弁 ↓ 専門スタッフ等の問題もあり、県に設置を要望中である。

自然を生かした施策を

津山再生クラブ 権田 直良



ている。現状は厳しく受け止めている。現在メインバンクを中心に銀行団債権者の金融支援による再建策を詰めている。将来見通しが明確になると思っている。

質問 ↓ 新市で環境教育総合センター（合宿研修）を立ち上げ、水、空気、緑や動植物の学習の場を全国に発信し活性化を図ってはどうか。

答弁 ↓ 合併後は森林、里山、水資源など広大な自然環境を有することになる。今後、環境基本計画をもとに、ご提案を教育委員会と一緒に研究していきたくと考えている。
* 紙面の都合で教育の問題は略。

質問 ↓ 「アルネに今後一切公費投入はしない」とは何だったのか。今後の見通しはどうなっているか。

答弁 ↓ アルネは都市資産として地域経済の重要な役割を果たす施設と確信し

自立生活センターと車いす駆伝大会

津山新星会議 野村 昌平



質問 ↓ アメリカのバークレーが発祥地である「自立生活支援センター」は、障害者福祉の画期的な動きとして近年

年世界各国に拡がりつつあり、日本では百数十ヶ所設立され、岡山市にも一ヶ所出来ている。これをどう見られているか。

答弁 ↓ 障害者自らが自立するため運動を実践されたものと聞いており、大いに関心を持っている。「自立生活センター」などの動きがあれば市としてもご支援、サポートして参りたい。

質問 ↓ 車いす駆伝大会のフルモデルチェンジあるいは廃止の考えは。

答弁 ↓ 築城四百年、国体もあり、休止も含め検討したが、特に学生ボランティアの意義も大きく、見直し、節約を図り継続していきたい。

プロジェクトチームで新市のまちづくり検討

政津クラブ 秋山 幸則



答弁 ↓ 合併に伴い行政エリアが拡大するため、ITを活用したテレビ電話による遠隔の医療相談、介護支援、安否確認や買い物などの在宅福祉、地域福祉の充実。交通体系の整備は、バス路線を柱にJRとも連携しながら交通不便地の解消に向けてプロジェクトチームを立ち上げ検討する。

質問 ↓ 快適な学習環境を確保するため、小中学校にPFI手法による空調設備の導入をする時代ではないのか。

答弁 ↓ 普通教室への空調設置は国の補助対象外であるが、PFIによる総費用負担の縮減、単年度負担の低減が可能となるため設置に向け研究する。

質問 ↓ 来年二月二十八日に、五市町村が合併することが正式に決まったが、新市の一体性を確保し、住民サービス向上の為の具体的な施策は。